

## 14 補足：直交補空間

定義 14.1 内積空間  $V$  の部分空間  $W$  に対して

$$W^\perp = \{u \in V; \text{すべての } v \in W \text{ に対して } (u, v) = 0\}$$

とおき,  $W$  の直交補空間と呼ぶ

$W^\perp$  は  $V$  の部分空間である. これを確かめよう. 定理 7.1 により,

- $0 \in W^\perp$ ,
- $u, v \in W^\perp$  ならば  $u + v \in W^\perp$ ,
- $a \in \mathbb{R}, u \in W^\perp$  ならば  $au \in W^\perp$

の 3 つを確かめれば良い.

- まず勝手に  $V$  の元  $u, v \neq 0$  をとる.  $0 = 0v$  だから

$$(0, u) = (0v, u) = 0(v, u) = 0$$

となる. したがって特に  $u \in W$  を考えると,  $0 \in W^\perp$  がわかる.

- $u, v \in W^\perp$  とすると  $w \in W$  のとき

$$(u + v, w) = (u, w) + (v, w) = 0$$

よって  $u + v \in W^\perp$ .

- $a \in \mathbb{R}, u \in W^\perp$  とする.  $w \in W$  のとき,

$$(au, w) = a(u, w) = a \cdot 0 = 0$$

だから  $au \in W^\perp$ .

以上により,  $W^\perp$  は部分空間になる.

定理 14.1 (i)  $W \cap W^\perp = \{0\}$ ,

(ii)  $W_1, W_2$  がベクトル空間  $V$  の部分空間であるとき

$$W_1 \subset W_2 \longrightarrow W_1^\perp \supset W_2^\perp$$

証明 (i)  $W, W^\perp$  はともに  $V$  の部分空間だから  $\mathbf{0} \in W \cap W^\perp$  である .  
 $v \in W \cap W^\perp$  とすると ,

$$(v, v) = 0$$

なので , これは  $v = \mathbf{0}$  を意味している . ( $\forall v \neq \mathbf{0}$  ならば , 内積の性質 (4) により  $(u, u) > 0$ )

(ii)  $W_1 \subset W_2$  とすると ,  $u \in W_2^\perp$  のとき  $w \in W_1$  ならば  $w \in W_2$  となり ,

$$(u, w) = 0,$$

つまり  $u \in W_1^\perp$  である . したがって ,  $W_1^\perp \supset W_2^\perp$ . □

定理 14.2  $V$  が有限次元ベクトル空間で ,  $W$  がその部分空間とする . このとき  $W$  の基  $v_1, \dots, v_k$  に対して

$$W^\perp = \{u \in V; (u, v_j) = 0, j = 1, \dots, k\}$$

証明 右辺の集合を  $W_0$  とかく .  $v_1, \dots, v_k \in W$  なのだから  $u \in W^\perp$  ならば

$$(u, v_j) = 0, j = 1, \dots, k$$

が成り立つ . したがって  $W^\perp \subset W_0$  は明らか . 一方 , 任意の  $v \in W$  は

$$v = c_1 v_1 + \dots + c_k v_k$$

と基の 1 次結合で書けるので ,  $u \in W_0$  のとき

$$(u, v) = c_1 (u, v_1) + \dots + c_k (u, v_k) = 0$$

となり ,  $u \in W^\perp$  である . □

したがって  $W^\perp$  は連立方程式

$$(u, v_j) = 0, j = 1, \dots, k$$

の解空間として理解できる . この解空間の次元は  $m = \dim(V) - k$  だったので  $\dim(W^\perp) = m$ .  $W^\perp$  の 1 次独立な基を  $u_1, \dots, u_m$  とする . 今 ,

$$c_1 v_1 + \dots + c_k v_k + c_{k+1} u_1 + \dots + c_{k+m} u_m = \mathbf{0}$$

とすると , 移項して ,

$$c_1 v_1 + \dots + c_k v_k = -(c_{k+1} u_1 + \dots + c_{k+m} u_m)$$

となるが、左辺は  $W$  の元で 右辺は  $W^\perp$  の元なので、定理 14.1 により両辺ともに 0 に等しい。  $\{v_j\}, \{u_i\}$  はそれぞれ 1 次独立だから、これよりすべての  $c_1, \dots, c_{k+m}$  は 0 となり  $k + m = \dim(V)$  だから

$$v_1, \dots, v_k, u_1, \dots, u_m$$

が  $V$  の基となっている。これより次のことが分かる

定理 14.3  $v \in V$  ならば  $w \in W$  と  $u \in W^\perp$  があり、

$$v = w + u$$

とできる。このような  $w \in W$  と  $u \in W^\perp$  はただ一通りしかない。

証明 前半は上で言ったこと。後半については  $w_1, w_2 \in W$  と  $u_1, u_2 \in W^\perp$  に対して

$$v = w_1 + u_1 = w_2 + u_2$$

となったとすると、移項して

$$w_1 - w_2 = u_2 - u_1$$

左辺は  $W$  の元で右辺は  $W^\perp$  の元なので、これは 0 に等しい。よって  $w_1 = w_2, u_1 = u_2$ . □

例 14.1  $V = \mathbb{R}^3$ ,

$$W = \left\{ \mathbf{x} \in \mathbb{R}^3; \begin{array}{l} x_1 + 2x_2 + x_3 = 0 \\ 2x_1 + 3x_2 - x_3 = 0 \end{array} \right\}$$

のとき、 $W^\perp$  を求めよ。解  $W$  の基を求める。これは上の方程式の基本解を求めることで、

$$A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 \\ 2 & 3 & -1 \end{pmatrix}$$

の簡約形を求めると

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 \\ 2 & 3 & -1 \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 \\ 0 & -1 & -3 \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 2 & 1 \\ 0 & 1 & 3 \end{pmatrix} \rightarrow \begin{pmatrix} 1 & 0 & -5 \\ 0 & 1 & 3 \end{pmatrix}$$

これより 主成分でない  $x_3 = c$  と書くことにより

$$\begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5c \\ -3c \\ c \end{pmatrix} = c \begin{pmatrix} 5 \\ -3 \\ 1 \end{pmatrix}$$

よって  $W$  の基は  $\mathbf{a} = \begin{pmatrix} 5 \\ -3 \\ 1 \end{pmatrix}$  . これより

$$W^\perp = \{\mathbf{x} \in \mathbb{R}^3; (\mathbf{x}, \mathbf{a}) = 0\} = \{\mathbf{x} \in \mathbb{R}^3; 5x_1 - 3x_2 + x_3 = 0\}$$

これは  $x_2 = s, x_3 = t$  と置くと解は

$$\begin{pmatrix} x_1 \\ x_2 \\ x_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3s/5 - t/5 \\ s \\ t \end{pmatrix} = s \begin{pmatrix} 3/5 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} + t \begin{pmatrix} -1/5 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

$W^\perp$  の基は

$$\begin{pmatrix} 3 \\ 5 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ 5 \end{pmatrix}$$

ととれる .  $\dim(W^\perp) = 2$ .